

錆度合い自動判定ソリューション AIJO[®] Check Rust



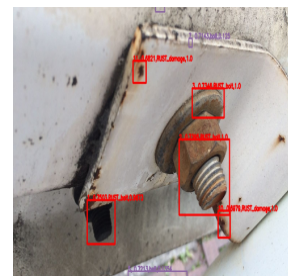
錆点検における課題

- 屋外設備の劣化検査は目視で実施されているが、対象物が多く手間がかかる
- 高所作業等の危険な場所は事故が生じる可能性がある
- 作業者により判断基準が異なる
- ビデオやドローン等で撮影しているが、撮影した画像の解析には、撮影時間以上の人手で画像を確認している



AIJO[®] Check Rustの概要

- 対象設備を撮影した写真・動画から錆箇所を検知するAIを作成
- ドローン等で撮影した映像を人手をかけずに解析可能
- 対象設備全体と錆検知箇所を同定し、劣化率を判定
- AIによる診断なので判断基準にばらつきがなく一定



AIによる劣化率判定

■ 運用イメージ

